



実いっばい
てねい!

これは！
創作の不感！



6
June. 2023
No.815

6月号の主な掲載記事

- ☑遠藤釈雄町長就任のあいさつ P.2
- ☑アオハルフォトレポート 涌谷中学校運動会 P.4
- ☑涌谷町長選挙
及び涌谷町議会議員補欠選挙結果 P.6

きらきら輝く田んぼに
涌谷町の現代の金の苗を
植えましたー

—所信表明—

財政再建を乗り越えた

涌谷町の新たな歩み

新時代・笑顔あふれる涌谷



涌谷町長 遠藤 積雄とくお

令和5年4月23日(日)に執行されました涌谷町長選挙により、多くの町民の皆さまからご支持、ご支援を頂き、引き続き涌谷町長としての重責を賜りましたこと、厚くお礼を申し上げます。

大橋信夫前町長が目指した「活力ある涌谷町の復活」に對する想いを引き継ぎながらも、この4年間は、平成31年1月30日に発令いたしました財政非常事態宣言の一日も早い解除を目指して、財政の立て直しと財政悪化の要因の一つでありました涌谷町国民健康保険病院の立て直しを主導してきました。幸いにも町民の皆さまのご理解とご協力を頂きまして、目標まであと一步のところまでたどり着かせていただいたところでもあります。この間、台風や大雨、地震、新型コロナウイルス感染症の拡大などに悩まされながらも、全職員や関係する皆さまとともに努力させていただき、財

政再建計画を着実に実行し、行財政運営を行ってまいりました。その結果、町の財政の指標となる実質公債費比率や将来負担比率が改善し、財政非常事態宣言を解除できる見通しとなりました。改めまして、これまでの町民の皆さまのご理解とご協力を感謝申し上げます。

一方、町民の皆様にご心配をいただいております涌谷町国民健康保険病院事業におきましても昨年の9月、議会に涌谷町国民健康保険病院の考え方をご提示し、この2月には涌谷町町民医療福祉センターの初代センター長であり、北海道大学および同大学院教授を経て、北海道夕張市立診療所所長として勤務されていた前沢政次先生を27年ぶりにセンター長としてお迎えいたしました。また、4月からは八坂寛久先生、さらに病院長として木村幹先生を新たにお迎えいたしました。今、涌谷町国民健康保険病院では、医

師や看護師、医療技術者、薬剤師、事務部門などすべての医療従事者が一丸となって、患者さまや町民の皆さまのために、これまで以上に優しい病院を目指して取り組んでおりますことから私としても、今後の病院運営に明るさを実感しております。これからの涌谷町国民健康保険病院のあり方として、大崎地域は一つとの考え方に基づき、大崎市民病院を拠点病院としながら周辺市町の公立病院との連携を強化し、大崎地域における広域医療体制構築のための一角としての立場を目指し、同時に地域医療の要としての立場も確立し、町民の皆さまが安心して暮らせる環境を整えてまいります。

今、全国的に出生数の減少に歯止めがかからない状態にあります。新型コロナウイルス感染症により婚姻数が減ったことも、これに拍車をかけております。涌谷町におきましても令和4年の出生数は44人と過去に類を見ない状況にあります。国としての抜本的な対策が求められているところではありますが、町としても人口減少や少子化対策を重要な政策課題と捉えなければなりません。このような中におきましても明るい動きとして、令和6年7月の操業開始を目指して建設が進められている株式会社ウエルファムフーズさまが300人の従業員と共に進出してまいります。さらに100人ほどの新規従業員の募集が予定されており、そのうちの多くが女性となります。このような動きの中で、町民の皆さまが子育てしながらも働きやすい環境づくりとして、民間による保育所や幼保連携型こども園の力をお借りし、町としても幼稚園機能を高め、子育てしやすいまち・涌谷町を構築し、子育て支援のさらなる充実を図ることで、涌谷町への移住・定住につなげ、人口減少に歯止めをかけた다고考えております。

また、日本初の産金の地としての歴史に基づく、文化庁からの日本遺産認定や涌谷伊達家の城下町としての文化を活かして築き上げてきた「わくやブランド」を核として、農業・商業・工業の連携をより強固にすることで、新たな産業を生み出し、町民の皆さまが安心して住める町、愛着と誇りを持つことができる地域づくりを進めることでも、涌谷町への移住・定住につなげてまいりたいと考えております。

財政非常事態宣言解除の目途が立ち、新型コロナウイルス感染症も収束に向かうなど、新たな時代への明るい兆しが見えてまいりました。一方では、超高齢化・超少子化が加速し、著しい人口の減少が大きな課題として社会全体に重くのしかかっております。この困難な課題に立ち向かって行くには、涌谷町の力だけでは及ばず、近隣市町村や宮城県、国との連携が必要不可欠となります。例えば、国・県との連携をより密にし、地域を上げて石巻・酒田間の高規格道路の早期着工・完成を目指すとともに、大崎地域の全体の広域的な活性化を推し進めることで、涌谷町の振興へとつなげるため、近隣市町村や県・国との連携をより強固にしなければならぬと考えております。

町民の皆さまの笑顔があふれるまちづくりのため、涌谷町を明るい新時代に導くために、議会の皆さまと共に議論を深めながら、次の4年間も努力を積み重ねてまいります。町民の皆さまにおかれましてもなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

末筆でございますが、町民の皆さまの幸せと涌谷町の発展に尽力することをお誓いし、町長就任の挨拶といたします。



《写真解説》

① ② 開会式に先立ち生徒代表がリレーし灯された聖火
 ③ 真っ青な空に向かって選手宣誓④ハリケーンのように校庭を駆け巡る⑤戦略と連携がポイントの綱とり合戦⑥⑦体力だけではなく知力も重要なチューブ争奪くぐり⑧緊張感あふれる2年生のスタートシーン⑨力強い3年生の走り⑩入学して1カ月でも息の合ったバトンリレーを見せた1年生⑪トップのアンカーだけが許されるゴールパフォーマンス⑫ピースするほどの余裕ある3年生⑬一致団結して綱を引く2年生⑭マイクパフォーマンスで下克上を宣言する1年生



⑪



⑧



⑩



⑨



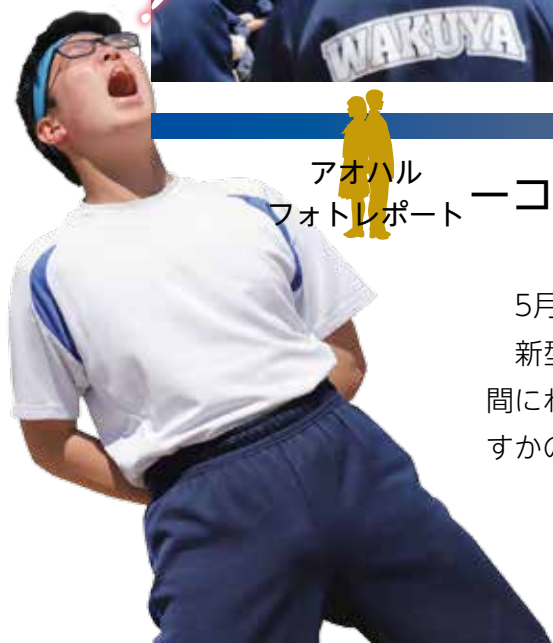
⑬



⑫



⑭



アオハル
フォトレポート

—コロナ禍を経て青春爆発— 涌谷中学校運動会

5月12日(金)に涌谷中学校で運動会が開催されました。

新型コロナウイルスが5類感染症に移行したこともあり、コロナ禍で3年間にわたり制限されてきたうっ憤を、この日の雲一つない青空のごとく晴らすかのように、ひたむきに競技に臨んでいました。

令和5年4月23日執行 涌谷町長及び涌谷町議会議員補欠選挙の 結果について

涌谷町長選挙の結果、遠藤^{とくお}积雄氏が当選されました。

候補者	得票数
遠藤 积雄 候補	4,028 票
佐々木 ^{としお} 敏雄 候補	2,255 票
小野寺 ^{たかし} 孝 候補	862 票

区 分	男	女	計
当日有権者数	6,381 人	6,627 人	13,008 人
投票者数	3,536 人	3,720 人	7,256 人
棄権者数	2,845 人	2,907 人	5,752 人
投票率	55.41%	56.13%	55.78%
有効投票数	—	—	7,145 票
無効票	—	—	111 票
【参考】 前回町長選挙投票率	60.64%	62.50%	61.60%

涌谷町議会議員補欠選挙の結果、只野順氏、門田善則氏が当選されました。

候補者	得票数
只野 ^{じゆん} 順 候補	2,668 票
門田 ^{よしのり} 善則 候補	2,410 票
佐藤 ^{のりひこ} 徳彦 候補	1,060 票
志子田 ^{かずゆき} 和幸 候補	398 票

区 分	男	女	計
当日有権者数	6,381 人	6,627 人	13,008 人
投票者数	3,535 人	3,720 人	7,255 人
棄権者数	2,846 人	2,907 人	5,753 人
投票率	55.40%	56.13%	55.77%
有効投票数	—	—	6,536 票
無効票	—	—	719 票

広告

パソコンレスキュー関原調査事務所

TEL 0229-29-9299

出張修理、持ち込み、その他、問合せ OK

✉ mail pc-rescue@ymail.ne.jp

〒987-0132 涌谷町字蔵人沖名 19-1

広告

—— 全国の処方箋受付けます ——

〈薬の一包化いたします〉

(株) アサヒ薬局

涌谷本店 ☎0229(42)2035 FAX 0229(42)2107

南郷店 ☎0229(58)3993 FAX 0229(58)3992



としあき
大友 利明 さん

(現旧迫川右岸土地改良区理事長)

令和5年春の叙勲
土地改良事業功労
旭日単光章

現旧迫川右岸土地改良区理事長として、多年にわたり土地改良事業に携わられてきた功績により受章。

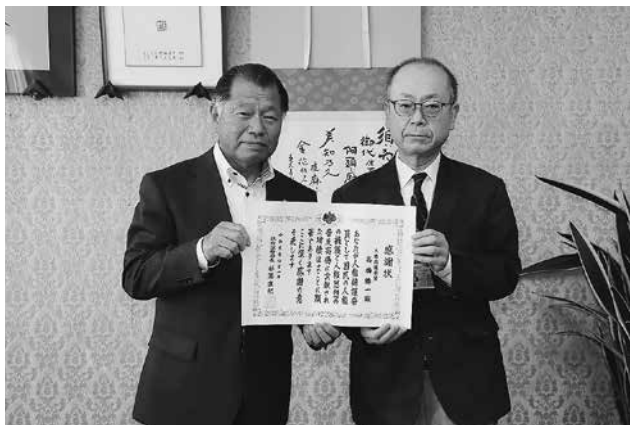


けんいち
早川 健一 さん

(元宮城県警部補)

第40回危険業務従事者叙勲
警察功労
瑞宝単光章

昭和43年に宮城県警の巡査を拝命し、刑事課や地域課に勤務されてきた功績により受章。



人権擁護委員としての功績に
高橋勝一さんに仙台法務局長から感謝状

人権擁護委員を務めている高橋勝一さんが、4月1日付けで仙台法務局長から、人権擁護委員として国民の人権の擁護と人権思想の普及高揚に貢献されてきた功績により表彰されました。

地域内で人権が侵害されないよう配慮し、人権を擁護していくことが望ましいとして定められた人権擁護委員制度に基づき、法務大臣から人権擁護委員は委嘱されます。今後も涌谷町の人権擁護にご協力をお願いします。



黄金主義を掲げるベガルタ仙台との連携事業
金のいぶき栽培プロジェクト

5月6日(土)に、チームカラー「ベガルタゴールド」で、涌谷町と縁があるベガルタ仙台と連携し、金のいぶきを田植えするイベントを実施しました。イベント当日は、昨シーズンまで18年間にわたりベガルタ仙台一筋でプレーしてきた富田晋伍クラブコミュニケーターを招いて、15人の一般参加者とともに、JA新みやぎ涌谷営農センターと金のいぶき生産者の及川達也さんの協力を得ながら田植えを行いました。秋には稲刈りのイベントを実施予定です。



黄金主義を掲げるベガルタ仙台との連携事業
ユアテックスタジアム仙台で出張砂金とり

4月29日(土)に、仙台市泉区にあるユアテックスタジアム仙台でベガルタ仙台ホームゲームが開催された際に、ゴールデンウィークに合わせて涌谷町としてブース出展しました。

ブース内では、天平ろまん館から砂金とり体験を出張させたほか、日本遺産「みちのくGOLD浪漫」のパネルなどの展示、涌谷町特産の金のいぶきや城山の金さんのはと麦茶の販売を行い、涌谷町とベガルタ仙台のつながりや観光PRを実施してきました。